

こども未来会議

令和4年6月28日 (火)

第6回 Web会議

こども未来会議（第6回）出席者

◎座長（敬称略・五十音順）

氏名	所属
◎ 秋田 喜代美	学習院大学文学部 教授、東京大学 名誉教授
新井 紀子	国立情報学研究所 教授・社会共有知研究センター長 東京都教育委員会 委員
池本 美香	株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員
大谷 美紀子	国連子どもの権利委員会 委員長、弁護士
小林 よしひさ	タレント（NHK「おかあさんといっしょ」第11代目体操のお兄さん）
松田 恵示	東京学芸大学 理事・副学長

本日のテーマ

- **東京都の子供政策の総合的推進について**
～子供政策連携室が果たすべき役割～

本日の次第

- **東京都からの報告事項**
- **意見交換**
- **小池東京都知事挨拶**

「未来の東京」戦略と子供を取り巻く状況

< 「未来の東京」戦略 (令和3年3月) >

子供政策を中核に位置付け、取組を推進

戦略1 子供の笑顔のための戦略

子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れ、
家族の絆と社会が支える東京



戦略2 子供の「伸びる・育つ」応援戦略

新たな教育モデルにより、すべての子供・若者が
将来への希望を持って、自ら伸び、育つ



- 子供が抱える困難は、子供自身や家庭環境等の様々な要因が重なり合い、多様な形で顕在化
- コロナ禍はこうした困難や課題を深刻化させ、その影響が長く続く懸念



< 「未来の東京」戦略 version up 2022 (令和4年2月) >

チルドレンファースト 子供の目線からの政策展開

東京都こども基本条例（令和3年3月制定）

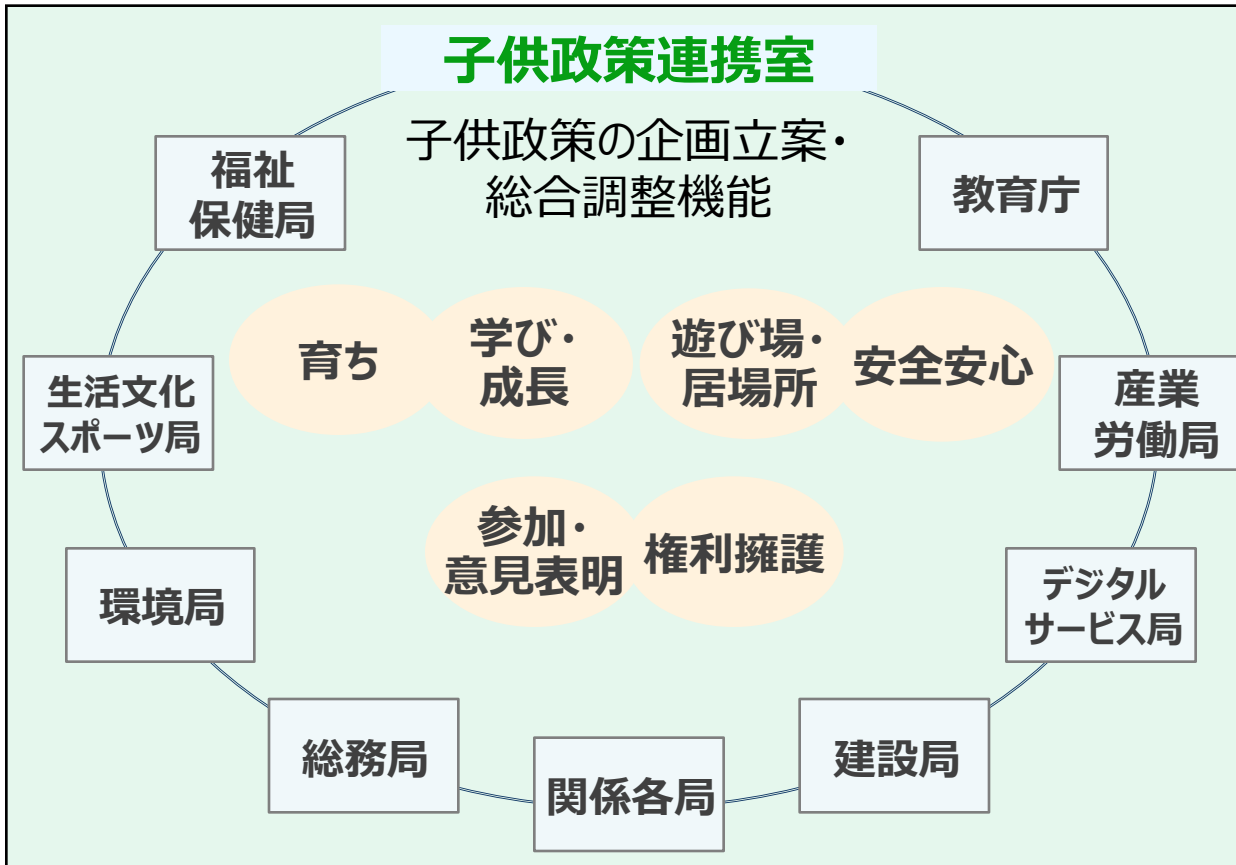
- 「子どもの権利条約」の精神に則り、**子供を権利の主体として尊重し、子供の最善の利益を最優先にする**という基本理念を明確化
- 多岐にわたる**子供政策の基本的な視点を一元的に規定**
（子供の安全安心・遊び場・居場所・学び・意見表明・権利擁護等）
- 子供施策に係る**総合的推進体制の整備**について規定

第一条	目的	第七条	こどもの遊び場、居場所づくり	第十三条	こどもからの相談への対応
第二条	定義	第八条	こどもの学び、成長への支援	第十四条	こどもの権利擁護
第三条	基本理念	第九条	子育て家庭、こどもに寄り添った多面的支援	第十五条	こどもに関する計画の策定
第四条	こどもの権利	第十条	こどもの意見表明と施策への反映	第十六条	こども施策を総合的に推進する体制の整備
第五条	こどもにやさしい東京の実現	第十一条	こどもの参加の促進	第十七条	財政上の措置
第六条	こどもの安全安心の確保	第十二条	こどもの権利の広報・啓発		

子供政策連携室の発足（令和4年4月）

生まれてから幼児期、学童期、青年期など、ステージを通じて一貫してサポートし、
全ての子供たちの可能性を社会全体で大切に育んでいく

子供政策連携室が核となって庁内横断に横串を刺し、
庁内各局の機動的な取組を推進するとともに、新たな政策課題に取り組んでいく



＜子供政策連携室の機能＞

機能 こども基本条例を所管し、子供政策全般の総合的な
① 「企画立案機能」

機能 幅広い行政分野に関わる子供政策を全庁的に推進する
② 「総合調整機能」

機能 民間等と連携し、従来の枠組みに捉われない「先進的なプロジェクト推進」
③

子供政策総合推進本部の設置

- 子供政策を全庁的に推進する司令塔として、
子供政策総合推進本部（本部長：知事、副本部長：全副知事）を設置
- 本部の下に、**複雑化・複合化した重要課題**に対して、組織横断で取り組む
子供政策連携推進チームを設置

子供政策総合推進本部

本部長：知事

副本部長：全副知事、教育長

本部長：子供政策連携室長、各局長

- ✓ 子供政策の全体方針の共有
- ✓ 各局の子供目線からの取組の推進
- ✓ 先進事例等の共有 など

子供政策連携推進チーム

チームリーダー：子供政策連携室長

所掌事務：テーマ毎に推進チームを構成

（ミッション①、②の組織横断的なテーマ
について検討し、具体化）

本部幹事会

（各局・部長級職員）

- ・ 全庁的な取組の推進
- ・ 取組状況の確認

子供政策連携室のミッション①

子供や子育て家庭が直面する複雑化・複合化した課題に対し、
分野横断的視点から企画・調整機能を発揮

- 各局横断的な課題について、関係局からなるチームを組成し、施策を具体化・実践
- 以下の3つのテーマについて、チームを立ち上げるとともにこども未来会議での議論も踏まえ、新たな課題にも機動的に対応

プレコンセプション・ケアチーム

- 思春期特有の健康上の悩みを抱える子供たちが安心して相談できる環境の構築が不可欠
- 子供たちの特性に合わせた学校や地域における受診・ケア等の仕組み作り

ヤングケアラーチーム

- 顕在化しにくいヤングケアラー（自身に自覚がなく、周囲も気づきにくい）の早期発見
- 当事者のニーズに即した利用しやすい相談・支援サービスの構築

日本語を母語としない児童チーム

- 日本語指導が必要な児童生徒が増加する中、学校への適応や地域での居場所の確保、不就学、進路といった様々な問題への早急な対応が不可欠

子供政策連携室のミッション②

国内外の先進事例の調査・研究や課題抽出等を通じ、既存の枠組みに捉われない組織横断的な取組や政策分野の垣根を超えた先進的な取組にチャレンジ

○ 以下の3つのテーマについて、チームを立ち上げ



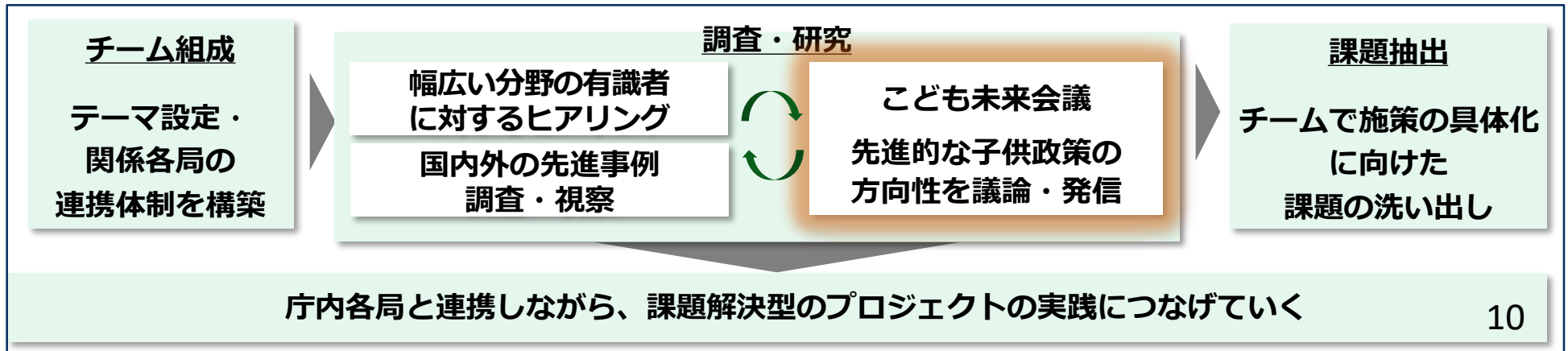
ネウボラの仕組み



乳幼児期の集団生活



子供目線によるセーフティ・レビュー



子供政策連携室のミッション③

民間等と連携した「先進的なプロジェクト」に果敢に取り組むとともに、「子供目線に立った政策」と「伝わる広報」を全庁を挙げて推進

- 「先進的なプロジェクト」 “オール東京都”の視点から、産官学民の多様な主体と連携し、先進的な取組を加速

こどもスマイルムーブメント

親子時間
育休取得促進
(愛称公募・
企業支援等)

遊び・学び
子供の
知的好奇心や
遊びを応援

先進的な取組を行う企業・団体と
一体となって展開・情報発信

チルドレンファースト
の社会へ



遊び・学び
子供の活動を
動画で発信

こども未来会議

従来の枠組みに捉われない幅広い視点から議論を展開・発信し、子供政策をリード



東京都こどもホームページ

R4年度当初にベータ版を公開
→ ユーザーテストを通じて、
子供の意見や
アイデアを反映



子供政策連携室のミッション③

「子供目線に立った政策」

- ハード・ソフトのあらゆる分野において、**子供の参加**や**子供との対話**を通じて、**子供目線に立った政策**を展開

まちづくり



交通



公園・遊び場



「伝わる広報」

- 「必要な方に必要な情報を迅速に届ける」**広報の実現**（プッシュ型広報、各局の子供・子育て情報のプラットフォーム化等）

子供政策
連携室

一体となって
庁内横断に
横串

政策企画局
戦略広報部

子供目線に立った各局の取組事例

「東京都こどもホームページ」 ベータ版の公開

子供と都政をつなぐ新たな情報プラットフォーム

- 子供の意見やアイデアを作成プロセスに反映
- 東京の魅力や都政が楽しくわかるコンテンツを掲載
- 各局の子供向け情報の紹介



公開中のベータ版について

小学校における1人1台端末等を活用し、**子供の意見を募集 (4/22-6/13)**

→ **子供の意見やアイデア**を基に、夏休み前にバージョンアップ



こどもスマイルムーブメントの展開 ～親子時間を大切にできる育休の取得促進～

育児休業の取得促進に向け、各局の施策を総動員し、
誰もが子供との時間を大切にできる社会の実現につなげる

育休取得促進に
向けた機運醸成
(子供政策連携室)

- ✓ 有識者・著名人の発信力を活用し、育休取得を応援するムーブメントを推進
 - 育休のイメージアップにつながる愛称を選定 (6/29サミットで発表)
 - 育休取得を促進するアイデアについて幅広くディスカッション

育休取得推進企業
を応援する取組
(産業労働局)

- ✓ 育休促進に取り組む企業への総合支援
- ✓ ポータルサイト (先進事例発信、法令理解促進)
- ✓ 男性育休促進マーク
- ✓ 奨励金 (非正規 男性 夫婦リレー取得推進)

都庁の率先した
取組
(総務局・各局)

- ✓ 職員の育休取得を一層促進
- ✓ 育休を取得する職員も周囲の職員も共にサポートできる組織運営を推進 など

戦略的広報、男性の
家事・育児参画促進
(政策企画局・生活
文化スポーツ局)

- ✓ 著名人やメディアの力を活用した戦略的広報
- ✓ 男性の家事・育児参画に向けたマインドチェンジ



など

こどもスマイルムーブメントの展開 ～こども記者～

子供目線で新たな発見や魅力を発信する体験プログラム 「こども記者」を実施し、映像化して発信

- 興味・関心のあるテーマを子供自らが「こども記者」として取材、撮影
(子供たちによる取材や動画作成の一連のプロセスを映像化、テレビやYouTube等で発信)
 - 子供たちの知的好奇心を高め、子供が興味・関心のある内容を知り、子供目線の取組を創出
 - 広く発信することで、多様な主体が子供関連施策を推進するきっかけとする
- ※ 第1弾として、小学生を対象に「こども記者」募集 (4/28-5/31)



広報東京都こども版

子供達に身近なテーマを取り上げ、都政や社会を考えるきっかけに

【WEB版】 今年4月より毎月発行
5月HTT
6月浸水対策



【印刷版】 年5回発行
都内全小学校・児童館
に掲示
初回：5月27日配布

小学4年生が主なターゲット
わかりやすい表現で都の取組を発信



WEB版

印刷版

「わが家の環境局長」事業 ～こどもを通じて、家族で、夏の節電を実践～

小学生をターゲットに、家族で、楽しみながらアクションに取り組める仕掛けを提供

○ 知事による「HTT特別授業」を実施（キックオフイベント） 「電気を、H（へらす）、T（つくる）、T（ためる）」

日時：5月31日（火）

場所：新宿区立落合第三小学校

対象：4年生

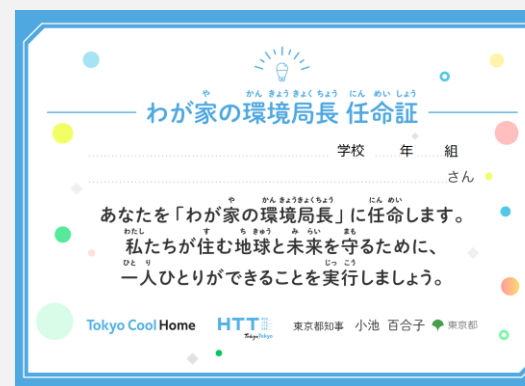
- ✓ 輸入に頼る資源や具体的な節電対策等を紹介
- ✓ 「わが家の環境局長」任命式

○ 環境局ホームページで、コンテンツ提供開始

- ✓ 環境情報リンク集やクイズ
- ✓ 「わが家の環境局長 任命証」
- ✓ 夏が来る前に、家族で実践！アクションカード」



授業の様子



任命証の授与



東京おにごっこ ～オリンピックメダリストと「おにごっこ」「親子体操」～

海の森で伸び伸びと遊び、水上競技場を見学

【イベント概要】

場所：海の森公園森づくりエリア、海の森水上競技場

日時：5月29日（日）

参加者：50組100名 4歳～小学2年生の児童とその保護者

- ✓ 東京2020大会体操女子種目別ゆか銅メダリスト
村上茉愛さんと一緒に「おにごっこ」「親子体操」
を体験
- ✓ 大会競技会場であった「海の森水上競技場」にて、
カヌー競技のデモンストレーションなどを見学



さやまキッズプログラム ～パークレンジャーと一緒に里山を体験～

狭山公園で、親子いっしょに自然を楽しもう！

【イベント概要】

場所：狭山公園パークセンター

日時：毎月第1日曜日13:30～15:00

※8月は熱中症予防のため休止

参加者：10組

5歳～小学生とその保護者

親子で身近な自然を楽しむ方法をご紹介します！
枝・葉っぱ・木の実などをつかったクラフトや、探検&観察で生きものの不思議や魅力を発見するプログラムです。



※パークレンジャー：公園の自然を守るために、園内のパトロールや動物や植物の調査、自然の魅力や課題を紹介する環境学習プログラムを運営する専門スタッフ

こどもシンポジウム ティーンズ・アクション TOKYO 2022

子供・子育て支援施策等について研究活動を行い成果を発表

- 中学生・高校生（定員30名）がテーマ別にグループに分かれて研究活動を実施（約4カ月間）
- 東京学芸大学の学生スタッフが各グループに1名つき、活動をサポート
- 研究成果は、11月開催の「こどもシンポジウム」で発表
- 発表を受けて、子供へのフィードバックや、施策への反映のための検討等を実施

<令和4年度テーマ>

- 「思春期の健康や性について相談したいとき」
- 「性別による無意識の思い込み」
- 「デジタルを活用した社会」
- 「子供の成長に関わる仕事」
- 「放課後改造計画」

こどもシンポジウム /
ティーンズ・アクション
TOKYO 2022

参加者大募集
参加費無料

届け、私たちの声！
未来の東京へ！

対象
中学生・高校生年齢の方 郡内在住・在学

募集締切
令和4年7月13日(水) 17:00
イベント参加費は無料です。ただし、活動に付くインターネット通信費や交通費は個人負担となります。

ティーンズ・アクションって？
東京都の子供・子育て支援施策等について、グループで研究活動を行い、成果を発表するイベントです。10代の視点で考える「もったいなくないいな」という皆さんの“声”をかせてください！

どのような活動をするの？
コア・メンバーは、こどもシンポジウムでの発表を目指してグループ研究活動を行います。コア・メンバー以外の方も、郡内在住・在学の中学生年齢の方であれば誰でも参加できます！

コア・メンバー 定員30名
※申込人数超過の場合は抽選となります。
※抽選の結果はグループの発表を目標とし、結果に次第があります。

グループ活動の体制とテーマ例
各グループで行うディスカッションやシンポジウムでの発表用の資料作り等をサポート。
コア・メンバー 思春期の健康や性について相談したいとき
コア・メンバー 性別による無意識の思い込み
コア・メンバー オンラインで意見を表明
コア・メンバー デジタルを活用した社会
コア・メンバー 子供の成長に関わる仕事
コア・メンバー 放課後改造計画
コア・メンバー 自分たちの声

その後、東京学芸大こども未来研究所のプロジェクト研究員や職員が、中学生の活動をサポートします。

子供を守る事業者連携事業

都と事業者の連携により

子供・保護者の防犯意識向上と、地域ぐるみの社会気運を醸成

【事業概要】

- 親子で訪れる機会が多い商業施設等の事業者と連携
- 啓発動画のサイネージ放映、店舗センターコートでのイベント、従業員の「ながら」見守り活動、利用客への呼びかけを実施
- イオンモール、イオンリテール、イオンタウン、イトーヨーカ堂と覚書（6月22日）を締結し、事業を開始
- 8月以降にキックオフイベント実施予定



覚書締結式

たまモノこどもワンデーパス

- 多摩地域は、緑豊かな自然、多様な産業の集積などバランスのとれた暮らしやすいまち
- 子どもの笑顔と子どもを産み育てたい人であふれる地域にしていくため、多摩モノレールで、「たまモノ子育て応援事業」を実施

■実施実績・予定

- ・ 第1弾：4月23日(土)～5月8日(日)に発売
 - ・ 第2弾：7月中旬から約2カ月半発売予定！
- ※冬休み期間についても発売を予定

■本事業と連携した取組例

多摩動物公園では、パス利用者向け特典を用意

小学生を対象に、100円で
多摩モノレール全線を利用できる
「たまモノこどもワンデーパス」
を発売

100円で多摩モノレールが乗り放題！
たまモノこどもワンデーパス 発売!!
多摩モノレールは子育て世帯を応援します

「たまモノこどもワンデーパス」とは？
期間：10月1日～10月31日（10月31日をもって終了）
対象：10歳未満の小学生（小学生の1日乗車券です。1日1回のみ多摩モノレール全線を利用することができます。）
発売価格：¥100（通常の小学生1日乗車券は¥400）
発売期間：2022年6月23日（土）～5月8日（日）
発売場所は5月31日（日）まで有効
有効区間：多摩センター駅、高幡不動駅、立川南駅、立川北駅、玉川上水駅の改札窓口
有効回数：1万枚（2万枚）
※1枚あたり100円以内の乗車券が利用できます。
※1枚あたり100円以内の乗車券が利用できます。乗車券は400円以内の1日乗車券を発売しています。
※1枚あたり100円以内の乗車券が利用できます。乗車券は400円以内の1日乗車券を発売しています。
※1枚あたり100円以内の乗車券が利用できます。乗車券は400円以内の1日乗車券を発売しています。
※1枚あたり100円以内の乗車券が利用できます。乗車券は400円以内の1日乗車券を発売しています。

子供の遊び場に関する実態調査

第3回こども未来会議での議論を踏まえ、ボール遊びなど子供たちが体を使い遊ぶことができる遊び場について、政策企画局、都市整備局、建設局、教育庁の4局が共同で、実態を調査

調査結果の概要

◆ 公園（都内11,497か所）※1

【ボール遊びの使用制限】

その他1%

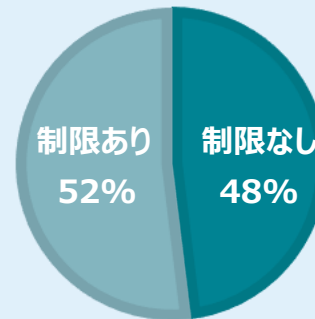


ボール遊び広場（大田区）

※1 都内公園12,004か所（島しょ地域を除く）を対象に令和4年2月に調査（回答率96%）

◆ 小学校（一般開放実施学校数：都内723校）※2、3、4

【遊びの制限】



写真提供：葛飾区

※2 都内小中学校1,852校（島しょ地域を除く）を対象に令和4年2月に調査
※3 体育館のみ開放している学校を含む
※4 中学校は部活動等で使用するため除く

論点・課題

利用者への安全管理や、
近隣住民への配慮が必要

今後の方向性

既存スペースの活用、中長期的なまちづくりの視点など
子供の遊び場の充実に向けて多面的に検討

令和4年度 こども向け予算書（動画）



- **東京都の仕事とお金の使い道**を分かりやすく解説した**動画を作成**
- 今年度は小学生向けに加え、**中高生向けの動画を新たに作成**
- 「**こどもホームページ**」への掲載や、「**東京動画**」で配信
- 都内の小、中学校等を通じて、**子供達に広く周知**

都民による事業提案制度について

- 従来の発想に捉われない新たな視点から都政の課題を解決することを目的として、都民から広く事業提案を募集（募集期間：4月8日～6月17日）

提案資格

- ✓ 満15歳以上（高校1年生相当年齢以上）の都内在住・通学・通勤者
- ✓ 都内に活動拠点を有する法人その他の団体



募集テーマ

以下の分野をはじめとして、幅広く提案を受付

- 感染症対策
- 起業・創業、イノベーションの促進
- バリアフリー化の推進
- 防災対策
- 長寿社会の実現
- 出産・子育てへの支援
- 脱炭素社会の実現
- 女性の活躍促進
- 社会のデジタルシフトの推進

- 昨年度の募集から、**対象年齢を満18歳以上から満15歳以上に引き下げ**
- 昨年度採択された7件のうち、**2件が高校生による提案**
- 「だれもが使いやすい駅づくり」「子供の外遊び運動等促進事業」について、**都の事業として予算化**

だれもが使いやすい駅づくり

〈令和3年度事業化された高校生の提案〉

視覚障害者等が更に便利で安全に駅を利用できるよう、鉄道事業者と連携した、スマホアプリや先進技術等を活用した案内誘導などの取組により、ユニバーサルデザインのまちづくりを更に促進

(事業イメージ)



スマホアプリを活用した駅係員等による介助



A I を活用した駅係員等による案内誘導などのサポート

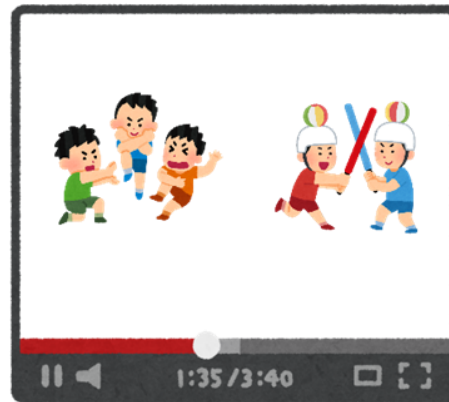
子供の外遊び運動等促進事業

＜令和3年度事業化された高校生の提案＞

子供の外遊び運動等を促進するため、遊び方や気を付けるべきルール等の動画を作成・発信。子供に人気の出演者を起用するなど、子供を惹きつける動画を作成し、外遊びを楽しむきっかけを作る。外遊びを楽しむ子供が増えることで、健康維持・増進を図っていく。

- ✓ YouTubeなどの動画コンテンツは親子で手軽に視聴でき、目に留まりやすい
- ✓ 影響力があるYouTuber等と協力して動画を配信

そとあそびをやってみた！



外遊びの魅力を動画で発信



ボールを使えない公園や遊具のない公園、
小さな公園でも、外遊びを楽しめる